

3 天敵を使いこなすポイント

天敵導入前のポイント その1

クレオメ

ゴマ

早く天敵の密度を上げる

(1) タバコカスミカメの**温存植物**（ゴマやクレオメ）をハウス内に植えておく。

天敵導入前のポイント その2

(2) 天敵導入前に害虫の密度を下げる

天敵・ハチ導入までの影響日数を考え、防除効果の高い薬剤を使う

- ・ アファーム乳剤

例

(アザミウマ類、ハモグリバエ類、チャノホコリダニ、ハダニ類、オオタバコガ、ハスモンヨトウ、コナジラミ類)

- ・ アクセルフロアブル

(アザミウマ類、オオタバコガ)

(3) 天敵への影響日数が経過し、

★害虫頭数が**ゼロ**に近づいたことを確認！



天敵導入前のポイント その3

(4) 天敵を放飼する。

例	・ スワルスキー	10a当たり 1～2本
	・ タバコカスミカメ	〃 1,000頭～

(5) 放飼から**14日**間は、
摘葉、殺菌剤・殺虫剤の散布を控える。



もし、天敵導入前に害虫の密度を
下げておかないと、この期間に害
虫が増えてしまう！

天敵導入後のポイント（成功の秘訣）



（６）放飼後、**天敵や害虫の発生状況をルーペで確認**

ハウスのサイド回りや中の畦、3～5ヶ所、計10株程度の芯、花、葉裏→**定着の大まかな目安**(天敵により差有り、訪飼後10～14日目)

天敵1～2匹なら定着まで7日様子見。

天敵3匹以上ならほぼ定着の兆し。

（７）天敵の**定着後**も害虫の発生を抑えるまでには7日程度かかるため、**果実か芯に被害(経済的被害)が出る場合は天敵・ハチに影響の少ない薬剤**を選択し、害虫密度を下げる。

（８）**4月以降**、害虫による被害が多くなる場合

原因1 天敵の密度が低い

(①もともと増えていかなかった ②農薬等で減った)

原因2 防虫ネットや粘着板、フェロモン剤などが天敵と同時に利用されていない(入り放題、増え放題状態)

対策：収穫作業などが忙しくなる時期で、**薬剤防除も大きな負担**
天敵を温存しながら、影響の少ない薬剤を使用。

収穫終了予定20日前からは最悪、天敵に影響のある農薬もやむなし

害虫の発生などを見つけたら

✓ 目印をつける

(後で分かるよう目立つものを)。

✓ 株全体を見て、原因となる手がかりを探す

原因がわからない等の時は
振興センターに問い合わせを！

スマホから 病害虫情報が 検索できます。

検索 こうち農業ネット

<https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/>

